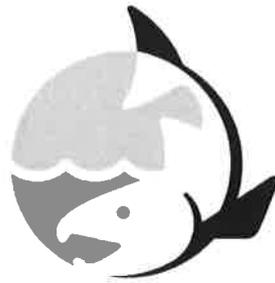


第 1 3 事業年度（2025 年度）

# 事業計画書

自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 3 1 日



一般社団法人 **根室管内さけ・ます増殖事業協会**

〒086-1634

北海道標津郡標津町北 4 条西 1 丁目 1 番 1 3 号

TEL : 0153-82-3617 FAX : 0153-82-1273

E-mail : [nemurokn@olive.ocn.ne.jp](mailto:nemurokn@olive.ocn.ne.jp)

<http://www.nemurokn.or.jp/>

## 目 次

基本的な考え方	1～2
令和7年度 事業計画取り組み要点	3
第1. 事業計画	
1. さけ・ます増殖事業	4～6
(1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業	
(2) さけ・ます人工ふ化放流事業	
(3) さけ・ます放流調査事業（補助対象事業）	
2. さけ・ます資源保護対策事業	6～8
(1) 各種調査事業	
(2) 河川環境保全事業	
(3) 教育研修活動事業	
(4) 密漁・窃盗被害防止対策事業	
3. その他事業	8
(1) 交流会事業	
4. 増殖施設整備事業	9～10
(1) 施設整備・補修工事	
(2) 固定資産取得内訳	
5. 増殖負担金の受入について	10
6. 道増協が実施する支援事業費について	11
第2. 会費等の額及び徴収方法について	12
1. 会費（さけ定置業者、漁業協同組合並び市町会員会費）	
2. さけ・ます漁獲高割負担金	
3. 徴収方法	
第3. 令和7年度収支予算書	13～16
付属資料	
令和7年度海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点	17
令和7年度以降の施設整備（補修）計画	18
令和7年度調査試験計画	19～20
令和7年度さけ・ますふ化放流計画	21～25

## 基本的な考え方

令和6年度の本道における秋さけ来遊尾数は、約1,760万尾、前年比78.2%と、3年ぶりに2,000万尾を下回る来遊数に後退し、更には、統計が始まった昭和61年以来、過去2番目の低水準となっています。

一方、漁獲金額は、水揚げが低調であったこと等により、昨年を大きく上回る単価となり、約490億円に達しております。

特に、今年度はオホーツク海区及び根室海区において、全道の86.5%を漁獲する結果となり、依然として地区間の格差が大きくなり、えりも以東地区から以西地区においては、毎年、前年を下回る漁獲となっており、定置経営及び、増殖事業運営が大変厳しい状況が続いています。

当管内における秋さけ来遊尾数は、約322万尾、前年比108%の結果となりました。漁獲金額も、90.4億円、前年比170%となり、計画を大きく上回る結果となっております。

今年度は、知床半島周辺に来遊が局地化したことにより、北部地区において昨年を上回る結果となりましたが、南部地区においては、前年を下回る結果であり、未だ地域間、網間の格差が大きく、低位水準が続く結果となっております。

種卵確保につきましては、3年続けての定置漁業者の理解のもと、投網開始を遅らせる措置を講じて種卵確保に努めて参りました。結果、前期群の9月期の来遊が悪く、また、若い魚が多かった事による河川そ上率の低下等があり、地場での計画卵数を確保出来ず、北見管内からの移殖を受け、計画卵の94.5%を確保して終了しております。

からふとますにつきましては、昨年の過去最低を更新する漁獲尾数となり、全道においても、今後の資源動向が危惧されています。

北海道、水資研、及び内水試、北見、宗谷管内増協と連携を取り資源の回復に努めて参ります。

令和7年度の事業推進にあたりましては、「第3期、5ヶ年計画（4年～8年）」を基本に事業を推進して参ります。（資源造成目標550万尾）

沿岸の環境変化に的確に対応するため、引き続き「親魚の十分な確保と良質な種卵の確保」に努め、稚魚の種苗生産体制を堅持し、「海況予測システムを活用した放流適期への対応」に重点を置いた事業の推進を図り、資源回復に努めて参ります。

当協会の今年度以降の資金計画につきましては、運営委員会等で協議し、理事会において決定をしております。

- ① 今後、3年間（7年、8年、9年）において、現行を継続して漁獲金額8.0%の負担をお願いする。
- ② 近年の漁獲状況から見て、年による漁獲金額の変動が見込まれることから、年ごとに、状況を協議した上でお願いする。
- ③ 令和9年に新たな財源の状況を見ながら10年以降の資金計画を策定し負担金をお願いする。

よって、今年度の運営資金につきましては、50億円の8.0%、4億円を負担金収入とすることで計画いたします。

また、近年の物価高騰による事業経費の増額が見込まれることから、より効率的な事業運営に努めて参ります。

秋さけ資源の低迷により、増殖事業の運営が大変厳しくなっている中、今こそ、各地区組織が「自立、安定」した運営体制を構築していくことが重要であり、強く求められています。会員の皆様には、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも、国、道などの関係機関のご指導のもと、役職員が一丸となり適切な組織の運営と効率的な事業推進に努め、管内のさけ・ます資源の回復と、定置漁業の経営安定に貢献して参りますので、会員各位の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 〔令和7年度 事業計画取り組み要点〕

増殖事業を取り巻く環境に対応した事業転換を図るため、国や道などの行政、研究機関の指導支援を受けるとともに、調査研究に対して全面協力をし、来遊資源の早期回復・安定に向け最大限努力することとして、以下の項目を柱に進めて参ります。

(付属資料17ページ参照)

### 1. 計画卵数の確保【地場親魚・良質卵の確保】

「高い発眼率（稚魚生産率）の維持」

「水カビ対策の検討・実施」

### 2. 回帰率向上のための稚魚生産体制の構築【沿岸生存率の向上】

「オイル添加飼料の給餌」

「寄生虫病対策の検討」（承認薬品の共同研究）

「海水適応試験による健苗性把握」

### 3. 科学的根拠に基づく放流の実践【放流体制の改善】

「沿岸水温予測情報による放流期間の最適化」（試験機関等からの情報提供）

「放流河川毎の環境に対応した場所（下流域）への放流」

### 4. 各種試験、調査の実施【回帰率向上のための事業転換】

「放流時期・場所を再検証するための調査放流」（国費補助・委託事業）

「放流適地調査」・・・根室半島地区

※ 水資研及び道東センターによる技術普及、指導體制を強化していただき、技術的チェック体制を構築する。

# 第 1 . 事業計画

## 1. さけ・ます増殖事業

### ( 1 ) さけ・ます親魚捕獲採卵事業 ( 付属資料 2 1 ~ 2 5 ページ参照 )

北海道が策定した令和 7 年度「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、捕獲採卵河川 1 2 河川と補完河川 2 河川において、良質卵の計画数確保を目標に事業を実施します。

- ① 当管内による地場卵の計画卵数確保に全力で取り組みます。
- ② 捕獲体制の強化及び事業の効率化を図るために、その運営を各漁協さけ定置部会の協力を受け、西別・風蓮川捕獲場は「別海漁業協同組合」に、別当賀川捕獲場は「根室湾中部漁業協同組合」、床丹川捕獲場は「野付漁業協同組合」にそれぞれ業務委託により実施します。
- ③ からふとますについては、全道的に親魚確保が大変厳しい状況となっていますが、当管内による地場卵確保を基本として実施します。
- ④ 捕獲事業における不要親魚売却等については、販売業者 ( 組合 ) と協議を進め高価格の販売を実施します。

### ( 2 ) さけ・ます人工ふ化放流事業 ( 付属資料 2 1 ~ 2 5 ページ参照 )

第三期根室管内さけ・ます人工ふ化放流計画中期方針 ( 令和 4 ~ 8 年度 ) に基づき、「高い資源水準への回復」を目指し放流手法の改良を図りながら事業を実施します。

- ① 管内全体の放流数は、1 9 5 , 0 0 0 千尾を計画します。
- ② 種卵の確保にあたっては、地場親魚による良質卵の確保に取り組みます。
- ③ 主要河川である標津川並びに西別川をはじめとした各河川においては、現在行っている油脂添加飼料の給餌や下流域放流等を継続して実施します。
- ④ 寄生虫病対策として、承認薬品の共同開発の他、現行の駆虫方法についても効率化を図りながら健苗稚魚の生産に取り組みます。

- ⑤ 早期の飼育・放流が必要になった場合は、放流河川内での2次飼育について場所選定を含め実施します。
- ⑥ 放流にあたっては、水資研から提供される「さけます稚魚降海先沿岸水温情報」の水温予測の他、公的機関から公表されている沿岸水温の予測情報を活用し、放流時期を的確に捉え実施します。
- ⑦ えりも以東東部地区の放流数の削減により、落石・歯舞の放流数が除外されます。よって、当管内の計画に組み入れ現状維持の放流を進めて参ります。
- ⑧ からふとますについては、北海道、北見・宗谷管内増協と協力し事業を進めて参ります。

### (3) さけ・ます放流調査事業（補助対象事業）

#### ① さけ・ます増殖手法実証調査（旧さけ・ます放流体制緊急転換事業）

本事業は、放流体サイズの違いによる河川間（標津川、十勝川）の回帰率を比較検討するため、耳石温度標識を施した稚魚を生産・放流します。また、これまで放流してきた耳石温度標識の回帰状況を確認します。

##### 1) 河川間の回帰率比較実証調査

ふ化場名	放流尾数	事業費	補助額	補助事業者
標津・中標津	10,000千尾	40,000千円	20,000千円	国

##### 2) 耳石温度標識施標業務

実施場所	施標卵数	受託費	補助事業者
標津	10,000千粒	700千円	国

##### 3) 回帰親魚調査（耳石採取業務）

実施場所	実施期間	調査尾数	受託費	補助事業者
標津川	10月中旬～11月中旬	200尾	70千円	国

## ② さけ・ます不漁対策事業

本事業は国からの委託事業として、西別川から放流される稚魚を利用して放流後の移動や成長、放流時期を検証し、回帰率の向上を目指すことを目的に水資研並び道総研等が参画して実施している事業です。本年度も引き続き、この事業に係わる耳石温度標識魚の種苗生産を請け負います。

ふ化場名	標識尾数	業務受託費	補助事業者
本別ふ化場	3,000千尾	8,900千円	国

## ③ さけ増殖資材緊急開発事業

本事業は、オイル添加餌料・無添加餌料双方による飼育成績（餌料効率等）を比較し、効率的な種苗生産手法を検討することとして、飼育餌料費に対しての助成を受け入れます。

実施場所	事業費	補助額	補助事業者
各ふ化場	34,878千円	17,439千円	国

## ④ 中後期群資源造成試験

前期群と中後期群の回帰効果を比較するため、両群に耳石温度標識を施す業務を北海道からの委託を受け実施します。

ふ化場名	放流尾数	業務受託費	補助事業者
中標津	4,000千尾	4,224千円	北海道

## 2. さけ・ます資源保護対策事業

### (1) 各種調査事業

近年の不漁に対する抜本的な対策方法は不透明であるものの、放流後の河川や沿岸の環境を把握し、その変化に対応するため、関係各機関と連携し以下の調査を行います。

(その他調査は付属資料 19～20 ページ参照)

**① 水温データ観測**

主要放流河川において、親魚遡上及び放流時期における河川内水温を把握するため、水資研との連携によりデータロガーを設置してデータの蓄積を図ります。（標津川、当幌川、西別川）

**② さけ・ます稚魚渚滞調査**

放流後の渚滞における稚魚の滞游状況を把握することを目的に、毎年実施している調査を本年度も継続して実施します。（平成7年度から実施）

**③ 根室半島部における放流適地等調査**

半島部における放流適地を探索する事を目的として、標識放流等を活用して候補地の適否を検討します。（令和4年度から8年度までの5ヵ年）

**④ 標津町サケマス自然産卵調査**

標津町内の河川における自然産卵状況の調査に対し協力していきます。

**⑤ 西別川河川環境調査**

近年の河川遡上親魚の減少を受けて、従前からの河川環境の変化を把握するため、水質やさけ稚魚の被食実態及び捕食魚の生息数に関して基礎情報を蓄積することを目的として実施します。

**⑥ 地下水等利用実態調査**

既存の湧水や揚水井戸等の水量を把握（季節変化や年変動）し、ふ化事業運営上、将来的な揚水量確保（井戸の更新等）の必要性について、これまで実施した地質調査等を踏まえ検討します。

**（2）河川環境保全事業**

さけ・ます人工ふ化放流事業を安定的に推進していくためには、河川環境の保全が重要であることから、管内漁協専務参事会が実施している「河川パトロール」に参画し、河川環境への負荷軽減等に努めるほか、水質汚濁事故等の際には、水質調査を公害対策本部と連携し実施します。

また、近年増え続けている捕獲場周辺及び河口域等の土砂堆積についての問題を、関係機関に対し要請等を継続して実施します。

### (3) 教育研修活動事業

職員の技術向上に向けて、関係機関が実施する技術研修会等に積極的に参加するとともに漁業者との意見交換や研修会等を積極的に実施し、当協会の仕事をより理解してもらい、漁業者との共通の接点を持ちながら資源造成に努めて参ります。

また、各漁協及び部会等からの要望等に対して、水資研、道総研とともに対応して参ります。

### (4) 密漁・窃盗被害防止対策事業

事業河川での密漁及びふ化場蓄養池における窃盗被害が全道的に発生していることから、管内の主要捕獲河川において、パトロールを外部委託するほか、随時取締機関と連携を密にして必要な対策を実施します。

また、現在設置している防犯システムが効果を得ていることから、本年度も引き続き業務委託をします。

項目	事業費(円)	摘要
密漁パトロール業務委託	700,000	標津川捕獲場
監視カメラ設置 (リース及び買取)	300,000	標津・西別・風蓮川捕獲場 植別・薫別蓄養池
異常時出動業務委託 (防犯システム)	800,000	標津・計根別・西別蓄養池
合計	1,800,000	

## 3. その他事業

### (1) 交流会事業

北見管内増協との連携強化を図り、増殖事業等に係る諸問題への対応と親睦を図ることを目的として交流会を開催します。

#### 4. 増殖施設整備事業

本年度においても、ふ化・捕獲施設の維持改善のため整備・補修工事を行います。

また、大規模工事については、既存施設を利用した補修工事を主体とした令和7年度以降の整備計画（付属資料18ページ参照）をもとに、国及び北海道等の補助事業を活用しながら進めます。

##### (1) 施設整備・補修工事

	事業内容	事業費（円）	施設名
施設整備	河川浚渫（ふ化場取水・捕獲場）	5,000,000	標津・西別・当幌他
	捕獲施設設置・撤去	4,000,000	各施設
	その他施設整備	2,000,000	各施設
小 計		11,000,000	

	事業内容	事業費（円）	施設名
施設補修	除塵機の整備	1,000,000	春苧古丹
	捕獲槽補修	800,000	当幌（捕）
	飼育棟屋根補修(塗装含む)	7,300,000	計根別（施設整備計画より）
	河川導水路補修(構内アスファルト含む)	5,000,000	計根別
	河川ポンプ整備（4機）	4,000,000	元崎無異
	河川ポンプ整備（1機）	1,000,000	別当賀（捕）
	ベルトコンベアー修理	400,000	西別（捕）
	発電機点検整備（オイル交換等含む）	1,600,000	各ふ化場
	稚魚排水処理施設点検整備	2,000,000	各ふ化場
	導水管補修	4,000,000	モデル（町1/2負担）
	その他補修	7,000,000	各施設
	災害復旧	5,000,000	各施設
小 計		39,100,000	
合 計		50,100,000	

## (2) 固定資産取得内訳

固定資産取得支出となるものは次のとおりです。

資産科目	取得資産名	取得額 (円)	摘 要
機械・装置 (2,500,000)	計根別ふ化場ベルトコンベアー (3機)	2,500,000	
構築物 (26,000,000)	忠類ふ化場飼育池(改修)	26,000,000	(施設整備計画より)
建物附属施設 (4,000,000)	中標津ふ化場強制換気設備 (3基)	4,000,000	
工具器具備品 (7,400,000)	本別ふ化場消毒用水槽 (1基)	2,300,000	(特定資産)
	西別ふ化場 "	2,300,000	(特定資産)
	奥西別ふ化場 "	2,300,000	(特定資産)
	備品等 (各施設)	500,000	
少額固定資産 (1,000,000)	少額固定資産 (各施設)	1,000,000	
合 計		40,900,000	

## 5. 増殖負担金の受入について

各漁港等で実施する特別採捕許可に基づく小定置網漁業等による水揚げ金額に対して、漁獲高割負担金率と同じ 8.0%で負担金を受け入れます。

また、標津捕獲蓄養施設に係る経費の一部を負担金として受け入れます。

項 目	金額 (円)	摘 要
特別採捕負担金 (8.0%)	500,000	別海・走古丹各漁港・温根沼
標津捕獲蓄養施設利用負担金	4,000,000	標津町
合 計	4,500,000	

## 6. 道増協が実施する支援事業費について

科 目	拠出金額	受入金額	摘 要
ふ化放流助成事業費 (支援事業費)	128,700千円	113,132千円	道増協が実施する支援事業費及び運営費等の9億円を各地区増協の漁獲高比率により拠出。(拠出割合14.3%=管内50億円、全道350億円で計画) 一方で、全道からの拠出金8.24億円を各地区増協の事業量に応じ配分受入する。

## 第2. 会費等の額及び徴収方法について

令和7年度（2025年度）の会費及び負担金額の徴収については、次のとおりお願いいたします。

### 1. 会費（会費収入）

金額 1,590 千円

159 会員×10,000 円 = 1,590 千円

本会会員である、さけ定置漁業者、市町及び漁業協同組合を対象として、一会員当り年額 10,000 円の負担をお願いいたします。

地区名	定置会員								団体会員		合計
	羅臼	標津	野付	別海	湾中	根室	歯舞	落石	漁協	市町	
会員数	32	28	33	15	4	8	14	12	8	5	159

### 2. さけ・ます漁獲高割負担金（負担金収入）

金額 400,000 千円

さけ定置漁業者並びに共同漁業権に基づく、ます小型定置網漁業及び特別採捕による、さけ・ます漁獲金額に対して 8.0% の負担をお願いいたします。

計画漁獲高割金額（さけ・ます合計）	負担率	漁獲高割負担金額
5,000,000千円	8.0%	400,000千円

### 3. 徴収方法

- （1）会費は、8 月末日までに本協会指定口座に納入願います。
- （2）漁獲高割負担金は、毎月末締めで翌月 10 日までの納付とし、定置漁業以外の漁業については、漁期終了後の納付をお願いいたします。

### 第3. 収支予算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
①特定資産運用収入	<b>1,500,000</b>	<b>100,000</b>	<b>1,400,000</b>
特定資産利息収入	1,500,000	100,000	1,400,000
②会費収入	<b>1,590,000</b>	<b>1,600,000</b>	<b>-10,000</b>
会員会費収入	1,590,000	1,600,000	-10,000
③負担金収入	<b>404,500,000</b>	<b>402,500,000</b>	<b>2,000,000</b>
漁獲高割負担金収入	400,000,000	400,000,000	0
特別採捕負担金収入	500,000	500,000	0
施設利用負担金収入	4,000,000	2,000,000	2,000,000
④事業収入	<b>73,894,000</b>	<b>67,423,000</b>	<b>6,471,000</b>
親魚捕獲採卵事業収入	20,000,000	20,000,000	0
さけ・ます増殖手法実証調査稚魚売却収入	40,000,000	32,340,000	7,660,000
さけ・ます増殖手法実証調査受託収入	770,000	1,759,000	-989,000
さけ・ます不漁対策事業受託収入	8,900,000	9,100,000	-200,000
中後期群資源造成試験受託収入	4,224,000	4,224,000	0
⑤補助金等収入	<b>133,903,000</b>	<b>129,974,000</b>	<b>3,929,000</b>
さけ増殖資材緊急開発事業補助金収入	17,439,000	13,510,000	3,929,000
秋サケ環境変動対策事業収入	3,332,000	3,332,000	0
ふ化放流助成事業費収入	113,132,000	113,132,000	0
⑥雑収入	<b>2,852,000</b>	<b>2,755,250</b>	<b>96,750</b>
受取利息収入	2,000	2,000	0
職員住宅料収入	2,700,000	2,600,000	100,000
福利厚生貸付金利息収入	0	3,250	-3,250
雑収入	150,000	150,000	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>618,239,000</b>	<b>604,352,250</b>	<b>13,886,750</b>

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>2. 事業活動支出</b>			
<b>①事業費支出</b>	<b>465,850,000</b>	<b>457,970,000</b>	<b>7,880,000</b>
給料手当支出	109,000,000	105,400,000	3,600,000
臨時労務費支出	35,000,000	35,000,000	0
法定福利費支出	22,000,000	23,000,000	-1,000,000
福利厚生費支出	3,500,000	3,000,000	500,000
会議費支出	50,000	0	50,000
施設整備費支出	11,000,000	11,000,000	0
施設補修費支出	39,100,000	33,200,000	5,900,000
餌料費支出	38,000,000	38,000,000	0
旅費交通費支出	1,000,000	1,000,000	0
通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0
備品費支出	4,000,000	4,000,000	0
消耗資材費支出	20,000,000	20,000,000	0
借上費支出	3,500,000	3,500,000	0
車輛費支出	5,000,000	5,000,000	0
燃油費支出	12,000,000	12,000,000	0
水道光熱費支出	7,000,000	7,000,000	0
除雪費支出	1,500,000	1,500,000	0
動力費支出	85,000,000	90,000,000	-5,000,000
賃借料支出	19,900,000	20,000,000	-100,000
保険料支出	3,500,000	3,500,000	0
租税公課支出	10,000,000	10,000,000	0
放流体制緊急転換事業負担金支出	20,000,000	16,170,000	3,830,000
業務委託費支出	12,600,000	12,500,000	100,000
雑支出	2,000,000	2,000,000	0

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>②管理費支出</b>	<b>196,850,000</b>	<b>235,209,160</b>	<b>-38,359,160</b>
役員報酬支出(常勤)	9,600,000	9,600,000	0
役員報酬支出(非常勤)	2,150,000	2,150,000	0
給料手当支出	25,500,000	34,000,000	-8,500,000
退職給付支出	0	26,139,160	-26,139,160
法定福利費支出	7,500,000	8,000,000	-500,000
福利厚生費支出	2,500,000	2,500,000	0
会議費支出	2,000,000	2,000,000	0
旅費交通費支出	1,500,000	1,500,000	0
通信運搬費支出	800,000	800,000	0
交際費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	300,000	300,000	0
修繕費支出	2,500,000	4,500,000	-2,000,000
車両費支出	1,000,000	1,000,000	0
広告宣伝費支出	100,000	100,000	0
印刷費支出	1,000,000	1,000,000	0
備品費支出	500,000	500,000	0
水道光熱費支出	1,000,000	1,000,000	0
賃借料支出	1,100,000	400,000	700,000
地代家賃支出	900,000	900,000	0
保険料支出	450,000	450,000	0
図書購入費支出	50,000	50,000	0
業務委託費支出	1,700,000	1,500,000	200,000
租税公課支出	5,000,000	7,000,000	-2,000,000
道増協漁獲高割負担金支出	128,700,000	128,700,000	0
他団体負担金支出	200,000	200,000	0
手数料支出	0	120,000	-120,000
雑支出	500,000	500,000	0
<b>事業活動支出計</b>	<b>662,700,000</b>	<b>693,179,160</b>	<b>-30,479,160</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>-44,461,000</b>	<b>-88,826,910</b>	<b>44,365,910</b>

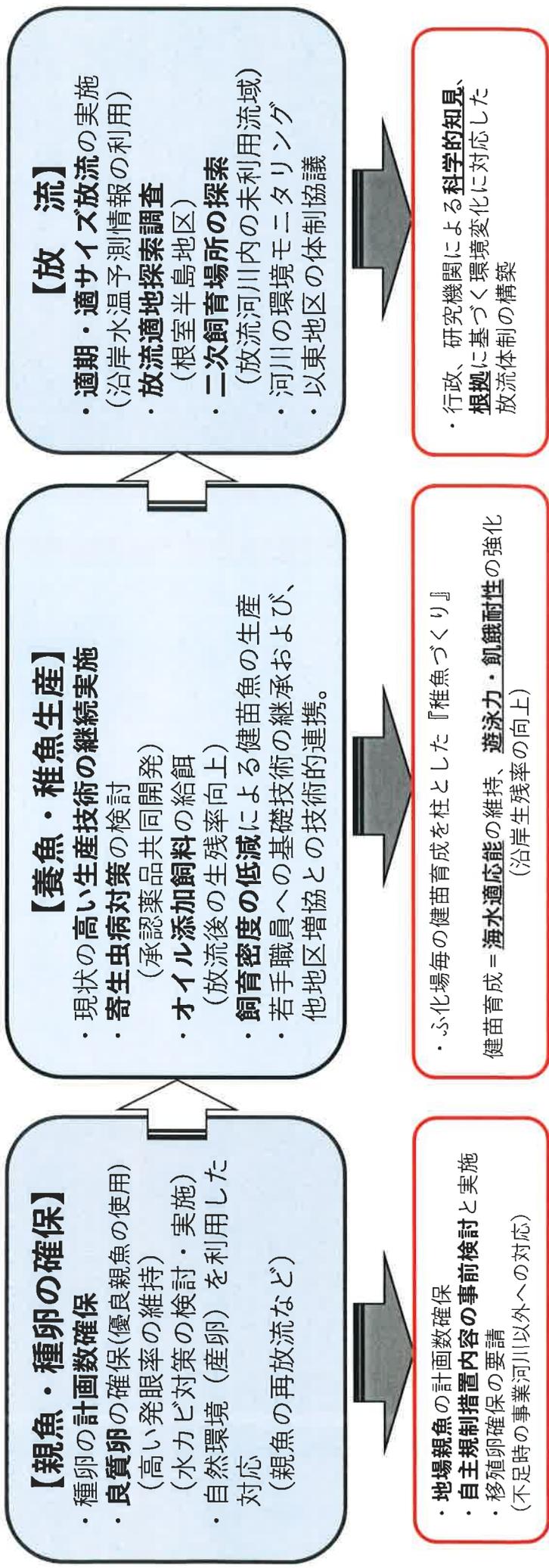
(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>Ⅱ 投資活動収支の部</b>			
<b>1. 投資活動収入</b>			
①特定資産取崩収入	<b>82,000,000</b>	<b>119,545,470</b>	<b>-37,545,470</b>
施設整備資金取崩収入	80,000,000	88,006,310	-8,006,310
職員住宅整備資金取崩収入	2,000,000	5,400,000	-3,400,000
退職給付引当積立資金取崩収入	0	26,139,160	-26,139,160
②固定資産売却収入	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>投資活動収入計</b>	<b>82,000,000</b>	<b>119,545,470</b>	<b>-37,545,470</b>
<b>2. 投資活動支出</b>			
①特定資産取得支出	<b>21,509,199</b>	<b>24,109,024</b>	<b>-2,599,825</b>
施設整備積立資金取得支出	0	0	0
増殖事業安定化対策資金取得支出	0	0	0
職員住宅整備資金取得支出	2,700,000	2,600,000	100,000
退職給付引当資金取得支出	10,469,199	15,869,024	-5,399,825
役員退任慰労金引当資金取得支出	1,440,000	1,440,000	0
工具器具備品購入支出	6,900,000	0	6,900,000
機械装置購入支出	0	4,200,000	-4,200,000
②固定資産取得支出	<b>34,000,000</b>	<b>7,200,000</b>	<b>26,800,000</b>
機械装置購入支出	2,500,000	1,500,000	1,000,000
構築物建設支出	26,000,000	0	26,000,000
建物付属設備支出	4,000,000	0	4,000,000
工具器具備品購入支出	500,000	1,700,000	-1,200,000
少額固定資産購入支出	1,000,000	4,000,000	-3,000,000
<b>投資活動支出計</b>	<b>55,509,199</b>	<b>31,309,024</b>	<b>24,200,175</b>
<b>投資活動収支差額</b>	<b>26,490,801</b>	<b>88,236,446</b>	<b>-61,745,645</b>
<b>Ⅲ 財務活動収支の部</b>			
<b>1. 財務活動収入</b>			
職員福利厚生貸付償還金収入	0	590,464	-590,464
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>590,464</b>	<b>-590,464</b>
<b>2. 財務活動支出</b>			
職員福利厚生貸付金支出	0	0	0
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>590,464</b>	<b>-590,464</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>-17,970,199</b>	<b>0</b>	<b>-17,970,199</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>206,487,324</b>	<b>160,000,000</b>	<b>46,487,324</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>188,517,125</b>	<b>160,000,000</b>	<b>28,517,125</b>

# 令和7年度 海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点



## 人工ふ化放流事業の継続による持続可能な漁業資源の維持



## 令和7年度以降の施設整備（補修）計画

優先順位	ふ化場名	事業区分	築年	整備箇所	整備内容	見込み額 (千円)	主な改修歴	改修理由
1	元崎無異	ふ化施設	S57	飼育池	飼育池の補修 (三方枠、側面、底面)	51,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H12年 飼育池C段4面設置。</li> <li>・H24年 河川水取水・排水設備改修。</li> <li>・H26年 事務所新設。</li> <li>・H27年 ポンプ室改修。</li> </ul>	<p>コンクリートの経年劣化により、漏水箇所を補修しながら使用してきたが抜本的な整備が必要。</p> <p>※国庫補助等を検討</p>
2	中瀬津	ふ化施設	S50	養魚池	養魚池の補修 (底面等)	70,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H13年 国から移管。</li> <li>・H15年 養魚池底面補修。</li> <li>・H17年 飼育池補修。</li> <li>・H27年 モア川取水改修。</li> <li>・R 4年 飼育池改修(国庫補助)。</li> </ul>	<p>過去に塗装した養魚池底面が剥がれ、仔魚が入り込むなどの問題があり、補修しながら使用してきたが、補修方法の検討を含め整備が必要。 (アスベストの事前調査が必要)</p> <p>※国庫補助等を検討</p>
3	計根別	ふ化施設	S61	べ二棟（上屋）	上屋（屋根）の補修	7,300	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H18年 国から移管。</li> <li>・H12年 養魚池底面補修。</li> <li>・R 1年 養魚棟屋根改修。</li> </ul>	<p>塗装の経年劣化や雨漏り、外壁の剥がれが生じているため整備が必要。</p> <p>※R7年度計画</p>
4	忠類	ふ化施設	S56	飼育池	旧飼育池の補修 (底面等)	26,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年 河川水取水施設新設、飼育池増設。</li> <li>・H28年 養魚池改修。</li> </ul>	<p>池の底板等、コンクリート全般が老朽化により剥離などしているため整備が必要。</p> <p>※R7年度計画</p>
5	瀬別	ふ化施設	S48	兼用池	兼用池の補修 (底面等)	15,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H12年 国から移管。</li> <li>・H20年 第2第3施設上屋改修。</li> <li>・H23年 河川水取水施設、飼育池増設。</li> <li>・R 2年 第一養魚棟上屋改修(国庫補助)。</li> </ul>	<p>池の底板のコンクリートが老朽化により剥離などとしていてため整備が必要。</p> <p>※R7年度計画</p>
6	根室事業所 (水資研)	ふ化施設	S61	兼用地	掃除機等の整備	10,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S61年 事業棟全面改築。</li> <li>・R 8年～国(水資研)から移管予定。</li> </ul>	<p>水資研の組織見直しに伴う施設移管(8年度からの取得)に伴う整備を必要に応じて行う必要がある。</p>

**<令和7年度調査試験計画>**

(関係機関との協力体制のもと実施している調査試験等)

**<さけます・内水面水産試験場 道東センター関連>**

<p>・原虫調査 目的：各ふ化場の寄生虫処理の実態調査。 場所：【春苧古丹、標津、中標津、計根別、西別ふ化場】</p>
<p>・各種モニタリング 目的：来遊予測等に係る年齢調査や病原体の保有状況の調査。 場所：【標津川、当幌川】</p>
<p>・根室地区における最適な放流時期の検証（さけ・ます不漁対策事業：水産庁委託事業） 目的：西別ふ化場標識放流魚を活用した移動・成長・放流時期検証。 場所：【別海、歯舞沿岸、他】</p>
<p>・サケの家魚化を緩和するための野生魚の利用に関する研究 目的：ふ化場魚と野生魚の違いを明らかにするとともに、ふ化場魚と野生魚を交配し、生産された稚魚の特徴を調べる。 場所：【崎無異川、古多糠川、標津川水系ミドリ川、他】</p>
<p>・稚魚生産・放流場所の探索調査 目的：半島部の放流適地（候補地）に標識（ALC）を施した稚魚を放流して適否を検討する。 場所：【根室半島部（オホーツク、えりも以東東部）】</p>

**<水研機構水産資源研究所 根室さけます事業所関連>**

<p>・技術普及 目的：ふ化場巡回による現状把握。 場所：【全ふ化場】</p>
<p>・秋サケ親魚の回遊状況等調査 目的：沿岸漁獲親魚からの耳石温度標識魚の回収、分析。 場所：【羅臼、野付、別海、落石漁協】</p>
<p>・各種モニタリング 目的：秋サケ来遊予測等に係る来遊親魚の年齢調査や病原体保有状況の確認、繁殖形質(卵サイズ等)の調査。 場所：【伊茶仁川、西別川】</p>

### <根室管内増協>

<p>・さけ・ます不漁対策事業（水産庁委託事業）</p> <p>目的：放流時期等を再検証するための耳石温度標識魚の生産・放流。</p> <p>場所：【本別、西別ふ化場】</p>
<p>・沿岸渚滞調査（水産庁委託事業「さけ・ます不漁対策事業」と共有）</p> <p>目的：放流稚魚の沿岸分布状況の確認と耳石標識稚魚の追跡調査。</p> <p>場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・さけ・ます増殖手法実証調査（水産庁補助事業）</p> <p>目的：放流体サイズの違う河川間（標津川、十勝川）の回帰率を比較。</p> <p>場所：【中標津ふ化場】</p>
<p>・卵期の魚病対策</p> <p>目的：卵期の魚病（水カビ病等）に対する効果的かつ効率的な方法の検討。</p> <p>場所：【全ふ化場（全収容卵）】</p>
<p>・稚魚期の魚病対策</p> <p>目的：北海道大学等との共同による稚魚期の寄生虫病に対する承認薬品の開発。 予防や治療（海水・食塩・食酢浴）の実施と効率的な方法の検討。</p> <p>場所：【北海道大学、製薬会社】【全ふ化場】</p>
<p>・放流稚魚の海水適応能試験</p> <p>目的：ふ化場で生産された稚魚に対する海水適応試験の実施による健苗度の把握。</p> <p>場所：【全ふ化場（放流稚魚全群）】</p>
<p>・下流域放流の実施</p> <p>目的：河川環境の影響を回避し減耗を抑えるための輸送放流。</p> <p>場所：【当幌川、床丹川、西別川】</p>
<p>・分散放流の実施</p> <p>目的：早期放流群の河川内等での未利用河川(支流等)を活用した二次飼育。</p> <p>場所：【北部地区】</p>
<p>・河川環境観測（データロガー）（水資研と連携により実施）</p> <p>目的：放流河川内の水温観測とデータの蓄積。</p> <p>場所：【標津川、西別川、当幌川】</p>
<p>・沿岸環境観測</p> <p>目的：関係機関による沿岸水温情報の収集とデータの蓄積。</p> <p>場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・ふ化用水の水質調査</p> <p>目的：ふ化場で利用する湧水や河川水について、酪農排水等の影響の有無を確認するため水質分析の実施。</p> <p>場所：【本別ふ化場 他】</p>
<p>・根室半島部における放流適地調査</p> <p>目的：半島部の放流適地（候補地）に標識（ALC）を施した稚魚を放流して適否を検討する。</p> <p>場所：【半島部河川等】</p>
<p>・西別川河川環境調査～根室振興局、水資研、道東センター、別海漁協</p> <p>目的：河川環境の把握とサケ稚魚の捕食状況の確認。</p> <p>場所：【西別川下流域】</p>
<p>・地下水等利用実態調査</p> <p>目的：現有の湧水や地下水等の実態（揚水量等）を把握し、将来的な揚水量改善の必要性を検討する。</p> <p>場所：【北部・南部地区】</p>
<p>・自然産卵調査～標津町自然産卵調査協議会</p> <p>目的：自然産卵状況の確認等。</p> <p>場所：【伊茶仁、標津川 他】</p>

別表1- (1)

令和7年度サケふ化放流計画 (総計)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数 (千粒)		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部										モセカルベツ 上標津	モセカルベツ	ルサ	4,000		
		羅臼	10,000	10,000						7,300	6,500	モセカルベツ 稚別 元崎無異	モセカルベツ	羅臼	10,000	
		春畑古丹	10,000	10,000						1,500	1,300	元崎無異 中標津 上標津	春畑古丹	春畑古丹	12,000	
		(稚別)								6,800	6,000	稚別	稚別		4,000	
		元崎無異	5,000	5,000						19,000	16,900	忠類	元崎無異		8,000	
		藍別	11,300	11,300						11,300	10,000	藍別	藍別		12,000	
		伊茶仁	8,800	8,800				8,800		7,300	6,500	忠類	忠類		6,000	
		標津	76,400	76,400						8,800	8,000	伊茶仁	伊茶仁		8,000	
		地区計	121,500	121,500	0	0	8,800			121,500	108,000	計根別 当幌		10水系	108,000	
		当幌	18,100	18,100						11,300	10,000		当幌			11,000
		(春別)								5,700	5,000	床丹	当幌	春別		2,000
		床丹	5,700	5,700						5,700	5,000		当幌	床丹		8,000
		西別	48,200	48,200				27,800		27,800	25,000	※虹別 奥西別 西別 本別		西別	43,000	
		風連	11,200	11,200									奥西別 西別 本別	風連		9,000
別当賀	14,700	14,700			1,700						奥西別 本別	別当賀		7,000		
地区計	97,900	97,900	1,700	0	27,800			96,200	85,500		奥西別 本別 西別	オンネベツ	3,000			
海区計	219,400	219,400	1,700	0	36,600			217,700	193,500		第2ホニオイ サンコタン		500			
えりも 東部	東部													84,000		
		美留和				1,700				1,700	1,500	美留和 西別	美留和 西別	1,000		
		地区計	0	0	0	1,700	0	0	1,700	1,700	1,500		美留和 西別	1,000		
		海区計	0	0	0	1,700	0	0	1,700	1,700	1,500		美留和 西別	1,000		

注: ( )は補定河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1- (2)

令和7年度サケふ化放流計画 (前期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数 供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)	水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
											供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部	羅臼	3,400	3,400				羅臼	3,300	2,900	上標津	2,000	ルサ	2,000		
		春畑占丹	3,400	3,400				春畑占丹	1,500	1,300	中標津	4,000	羅臼	2,900		
		(植別)						植別	1,100	1,000			春畑占丹	5,300		
		元崎熊異	2,000	2,000				元崎熊異	2,300	2,000			植別	1,000		
		薫別	4,000	4,000				薫別	4,000	3,500			元崎熊異	2,000		
								忠類	2,900	2,600			薫別	3,500		
		伊奈仁	2,800	2,800		2,800		※伊奈仁	2,800	2,500			伊奈仁	2,500		
								中標津	12,800	11,400						
		標津	21,000	21,000				上標津	3,400	3,000						
								標津	2,500	2,200					標津	10,600
		地区計	36,600	36,600	0	0	2,800	10か所	36,600	32,400			6,000	9水系	32,400	
		当幌	7,700	7,700				計根別	4,500	4,000				当幌	4,000	
		(春別)						当幌	3,400	3,000						
根室	南部	床丹	2,500	2,500				床丹	2,300	2,000	当幌	1,000	春別	1,000		
		西別	14,700	14,700		9,400		※虹別	9,400	8,400			床丹	4,000		
								奥西別	4,500	4,000						
		風連	4,500	4,500				西別	6,900	6,000				西別	13,100	
								本別	4,700	4,200						
		別当賀	8,000	8,000	1,700			本別	2,000	2,000			当幌	4,000		
								西別	3,000	4,000						
								本別	1,000	1,000						
								西別	500	500						
								本別	500	500						
		地区計	37,400	37,400	1,700	0	9,400	7か所	35,700	31,500			11,000	9水系	30,100	
		海区計	74,000	74,000	1,700	0	12,200	17か所	72,300	64,000			17,000	18水系	62,500	
		えりも 以東	東部				1,700			美留和	1,700	1,500	美留和 西別	500	◎昆布盛地先	1,000
地区計	0	0	0	1,700	0		美留和	1,700	1,500		3,000	3水系	3,000			
海区計	0	0	0	1,700	0		17か所	1,700	1,500		3,000	3水系	3,000			

注:(○)は補完河川、ふ化場、稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1- (3)

令和7年度サケふ化放流計画 (中期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区内移動卵数 (千粒)		水研機構への 供給卵数 (千粒)		ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)	供給場	稚魚数 (千尾)								
北部		羅臼	3,300	3,300					モセカルベツ	4,500	4,000	モセカルベツ	1,000	ルサ	1,000	
		春菊占丹	3,300	3,300					羅臼	2,100	1,900	モセカルベツ		モセカルベツ	3,000	
		(植別)							元崎無異					元崎無異	4,100	
		元崎無異	2,000	2,000					元崎無異					元崎無異		
		薫別	5,500	5,500					薫別	5,500	4,900			薫別	4,900	
		伊茶仁	3,300	3,300					忠類	2,900	2,600			忠類	2,600	
		伊茶仁	3,300	3,300				3,300	伊茶仁	3,300	3,000			伊茶仁	3,000	
		標津	32,100	32,100					中標津	10,800	9,600			標津	16,300	
		標津	32,100	32,100					上標津	4,500	4,000			標津	16,300	
		標津	32,100	32,100					標津	5,300	4,700			標津	16,300	
		地区計	49,500	49,500	0	0	3,300	3,300	107ヶ所	49,500	44,100	6,900	10水系	44,100	当幌	4,000
		南部		当幌	7,000	7,000					計根別	4,500	4,000			当幌
(春別)									当幌	1,100	1,000			当幌	1,000	
床丹	2,000			2,000					床丹	3,400	3,000			春別	1,000	
西別	19,600			19,600			11,000		※虹別	11,000	10,000			床丹	3,000	
西別	19,600			19,600					奥西別	5,600	5,000			西別	17,700	
西別	19,600			19,600					西別	6,800	6,000			西別	17,700	
本別	19,600			19,600					本別	5,800	5,200			西別	17,700	
風連	4,800			4,800										奥西別	2,000	
風連	4,800			4,800										西別	1,500	
風連	4,800			4,800										奥西別	1,000	
別当賀	4,800			4,800										西別	2,000	
別当賀	4,800			4,800										奥西別	500	
別当賀	4,800	4,800										西別	1,500			
地区計	38,200	38,200	0	0	11,000	11,000	77ヶ所	38,200	34,200	9,500	7水系	34,200	7水系	34,200		
海区計	87,700	87,700	0	0	14,300	14,300	177ヶ所	87,700	78,300	16,400	17水系	78,300	17水系	78,300		

注:( )は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流



別表2

## 令和7年度カラフトマスふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移動卵数 (千粒)		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部	サシルイ	3,000	1,300								春菊古丹	1,000	ルサ	1,000	
		羅臼	5,700	2,500								春菊古丹	1,000	サシルイ	1,000	
		春菊古丹 (元崎無異)	11,400	5,000					春菊古丹	26,600	21,500		春菊古丹	1,000	羅臼	1,000
		蕨別	3,000	1,300											春菊古丹	2,000
		伊茶仁	12,400	5,200											蕨別	2,000
		標津	25,800	11,300											春菊古丹	5,000
		地区計	61,300	26,600	0	0	0	1か所		26,600	21,500		床丹	19,500	8水系	21,500
	南部	当幌	7,800	3,400									床丹	2,000	当幌	2,000
		(春別)											床丹	500	春別	500
		(床丹)							床丹	8,700	7,000			床丹	1,000	
		西別	8,000	3,500											西別	2,000
		(風蓮)													床丹	1,000
		別当賀	4,200	1,800											床丹	500
		地区計	20,000	8,700	0	0	0	1か所		8,700	7,000				6水系	7,000
海区計	81,300	35,300	0	0	0	2か所		35,300	28,500				14水系	28,500		

注：( )は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構。